

# JavaWeb システム ショッピングサイト

システム名	KEN ショッピングサイト
プログラム名	order.jsp

*KEN School*

処理名	商品注文画面	JSP 名	order.jsp
業務概要説明			
<p>【処理概要】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● カートの中に格納された商品を注文する画面</li></ul>			

処理名	商品注文画面	JSP 名	order.jsp
-----	--------	-------	-----------

## JSP 詳細

## 【JSP 設計】

項番	項目	値
1	package	—
2	class/interface/jsp	jsp
3	アクセス修飾子	—
4	修飾子	—
5	継承元	—
6	実装元	—
7	使用クラス/インタフェース	java.util.ArrayList; ken.bean.Item;
8	アノテーション	—

図 1

## ■ 送付先登録画面

買い物内容は以下になります

タイトル	メーカー等	価格
ホリー・ポッター	ケン・ジャイシー	580
龍玉60年の歴史	島山明	600
ホリー・ポッター	ケン・ジャイシー	580
In bar Dream	DATA WEST	7140
COW GAME	忍転道	7329

合計金額は税込みで16229円になります。

下のフォームにお客様のお名前、ご住所、電話番号、メールアドレスを入力して、  
よろしければ「注文する」ボタンを押してください。

項目は必ず入力してください。機種依存文字は入力できません。

お名前	<input type="text"/>
	(例) 山田太郎

処理名	商品注文画面	JSP 名	order.jsp
JSP 詳細			
<p>【処理内容】</p> <p>1. 図1の①のように表を作成する  order.jsp の中の下記ソース部分中の ① ~ ⑤ までにそれぞれプログラムを組み込む形をとる。</p>			
<pre> &lt;!-- ●！！！！表の作成はここから！！！！● --&gt;     &lt;c:forEach var="item" items="①"&gt;         &lt;tr&gt;             &lt;td class="cart"&gt;&lt;c:out value="②" /&gt;&lt;/td&gt;             &lt;td class="cart"&gt;&lt;c:out value="③" /&gt;&lt;/td&gt;             &lt;td class="cart"&gt;&lt;c:out value="④" /&gt;&lt;/td&gt;         &lt;/tr&gt;          &lt;c:set var="total" value="\${ total + item.itemPrice }" /&gt;     &lt;/c:forEach&gt; &lt;!-- ↑↑↑↑表の作成はここまで↑↑↑↑ --&gt; &lt;/table&gt; &lt;br&gt; &lt;p&gt;     &lt;strong&gt;合計金額は税込みで⑤円になります。&lt;/strong&gt; </pre>			
<p>1. 繰り返し文を&lt;c:forEach&gt;タグで作成する  ① のitems属性の値には、sessionスコープからキー"cart"を指定し、取得した要素数分繰り返す  var属性の値には"item"を指定する</p> <p>2. ② にvar属性で指定したitem の getItemName() メソッドの戻り値が表示されるようにEL式を使用する</p> <p>3. ③ にvar属性で指定したitem の getItemAtrist()メソッドの戻り値が表示されるようにEL式を使用する</p> <p>4. ④ にvar属性で指定したitem の getItemPrice() メソッドの戻り値が表示されるようにEL式を使用する</p> <p>5. ⑤ にEL式を使って&lt;c:set&gt;タグのvar属性に指定したtotalを表示する</p> <p>※&lt;c:set&gt;タグの補足  タグ名の通り値を設定するためのタグです。var属性には変数名を指定し、value属性に変数に設定する値を指定します。  下記コードでは、total変数へtotal変数にitemオブジェクトの価格を加算した値を設定しています。  &lt;c:set var="total" value="\${ total + item.itemPrice }" /&gt;</p> <p>EL式やCoreタグは主に出力用で使用されますが、処理内容に応じて値を設定するためのタグも用意されています。  今回はカートの合計金額が必要ですが、合計金額を保持するフィールドは存在しないため&lt;c:set&gt;タグを使用して、ローカル変数の様に使用します。  そして、繰り返しの中でカートに追加された商品単価を一つ一つ加算し合計金額を求めています。</p>			